



川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和4年3月22日(火) No.14
狭山市立入間川小学校
〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9
TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 3/22 現在
男子261名 女子244名 計505名(±0)

感謝

新型コロナウイルスの影響で種々の行事が縮小・中止となる中、子供たちはもとより保護者の皆様にもご不便・ご迷惑等をおかけしたことと思います。一日も早い収束を願うばかりです。

そんな令和3年度も、25日の修了式をもって終わりとなります。本来であれば、川小のリーダーとして様々な場面で活躍してくれた84名の卒業生は、在校生代表の4・5年生の祝福を受けながら、明日(23日)、一足早くこの入間川小を巣立っていく予定でした。しかし、感染拡大防止のため、在校生の出席は見送られました。でも、きっとピンク帽子の卒業生は、中学校へ進学しても自分らしさを失わず、自分らしい素直な花を咲かせてくれることと信じています。

また、本年度も大きな事故等もなく、修了式を迎えることができそうです。登校・下校の見守りをしてくださった保護者・地域の皆様、放課後の消毒作業等、学校環境整備に力を入れてくださった学校運営協議会委員の皆様、本当にありがとうございました。次年度も多くの皆様の協力いただきながら、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい入間川小を創っていきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、私事ですが、3月31日をもって定年退職となります。昭和59年に、現在は統廃合された狭山台北小学校(6年間)に初任者として赴任し、その後、入間川小(9年間)・南小(4年間)・笹井小(4年間)・教育委員会(4年間)・入間市東町小(教頭・2年間)・広瀬小(校長・5年間)と学校を異動し、最後の4年間をこの入間川小学校の校長としてお世話になりました。これまで勤務した学校・担任した子供たち、そして保護者・地域の皆様それぞれに忘れ難い思い出がたくさんあります。特に、この入間川小学校には13年間という長い期間お世話になり、より多くの思い出をいただきました。20代後半から30代後半まで、勢いだけで勤めていた入間川小時代の子供たちが、校長職として戻ってきた時に、多くの保護者として在籍してくれたことは、私にとっては大きな力の一つとなりましたし、地域の方々から数多くの声をかけていただいたことも、校長として嬉しい限りでした。

今、38年間を自分なりに振り返ってみると、やはり『感謝』という言葉しか思いつきません。初任者の頃、音楽の時間、「# (シャープ)」と「b (フラット)」の意味を反対に伝えた時に、優しく「先生、それ反対ですよ。」と声をかけてくれた沢田さん。初めて卒業生を送り出す日に、礼服の胸にチーフを差し入れながら、「この方がかっこいいですよ。」と言ってくれた事務の福田さん。体育主任時代、運動会の日、夜半までの雨で運動場が気になり、朝早く出勤してみた時、一緒に運動整備を手伝ってくれた宮岡PTA会長さん。どれだけ、たくさんの子供たち・同僚・保護者地域の皆様に支えられてきたことでしょうか。数え上げれば、終わりが見えないほどです。教員生活の中で、ただ一つ、悔いが残るとすれば、一度も3年生の担任を経験できなかったことです。(1年生=1回 2年生=1回 4年生=1回 5年生=7回 6年生=7回) それができているならば、小学校教諭としてコンプリートだったのですが。でも、わがままな一つの「悔い」よりも、その何倍もの「有難さ」を味わわせてもらったことは『感謝』しかありません。本当に幸せな38年間の教員生活でした。

結びになりますが、校長職としての4年間を支えてくださった入間川小学校の保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。そして、何より、いつも元気な声で挨拶してくれた川小っ子の皆さん、ありがとうございました。言葉は整いませんけれども、最後のご挨拶とさせていただきます。

令和4年3月22日
狭山市立入間川小学校
校長 新井 忠洋